

木馬会会報 (第 140 号)

* 菊花賞特集 *

00/10/20

～木馬達の予想～

本紙 ラッキー

◎…アグネスフライト、エアシャカール

△…エリモブライアン、ヒシマジスティ、トーホウシデン

(ラッキー桑島の見解)

スプリンターズS、秋華賞と超万馬券の連続であるが、今週も懲りずに本命馬本線で予想する。

皐月賞馬、ダービー馬の2強はなんだかんだで共に順調に仕上がり、注目された夏の上がり馬は無念の涙を飲んだ。結局2強対決の図式は崩れぬまま本番を迎えそうである。

そこで本紙本命はダービー馬アグネスフライトとする。親子3代のクラシック血統、トライアルでは本番に向けて好位置からの競馬も身につけた。叩き合いでも負けない勝負根性もある。サンデーサイレンスに桜花賞馬の母と距離に一抹の不安はあるが、世界レコードに近い時計が出る今の京都であれば、距離は問題ないであろう。2冠制覇は目前である。

相手は、皐月賞馬エアシャカールと武豊である。気性の悪さは気になるが満足に追えない状態でもダービー2着、トライアル3着いずれも僅差である。力が一番ある。まっすぐ走ればあっさり逆転も十分考えられる。

連下には勝負強いブライアンズタイム産駒の2頭、エリモブライアンとトーホウシデンを狙う。共にジリ脚の感は否めないが、堅実さと父の底力に期待する。あとは夏から着実に力をつけているヒシマジスティの勢いをとる。印は回らないがダイワバーミンガムも期待の一頭である。これから楽しい馬なので注目しておく。

今週の格言………こんどこそ「18歳の美少年アイドルは30歳になってもカッコいい(場合が多い)」

(注釈) 春の有力馬は秋も有力馬である。

へなりん

秋華賞も荒れてしまいました。4角回って直線に向いた時に「バンブー!？」と思ったのは私だけではないでしょう。(まさかティコティコタックという名前とは……。バンブーティコティコにすればいいのに。あっ10文字だ。)

さて菊花賞。アグネスフライトは果たして「アグネス」最高の馬になれるのでしょうか?(アグネスワールドを越えられるか?)エアシャカールは?……エアグルーヴがいるからまだ無理でしょうね。それよりもシャカールの内にササる悪癖は大丈夫なのでしょうか?なかなか治りにくいと聞きますしね。

“実力のある馬が勝つ”菊花賞は荒れないでしょう、きっと。でもやはり人気薄の先行馬には注意しなくちゃいけませんよね。

◎: アグネスフライト ○: エアシャカール

△: エリモブライアン、ジョウテンブレーブ、ダイワバーミンガム、
スプリームコート、ヒシマジスティ、トーホウシデン

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎: アグネスフライト、○: エアシャカール、▲: トーホウシデン

菊花賞で秋のG1も3戦目。スプリンターズS、秋華賞と万券だが、まさか菊までも荒れるとは考えにくい。アドマイヤボス、フサイチソニックとトライアルの勝ち馬が出ないことで、力関係は春から変わりないを見る。アグネスとシャカールについてはほぼ互角であろう。2頭のどちらかが飛ぶとすれば気性面からシャカールか? そんな時は、大崩れしないトーホウシデンだろうが、あくまで3番手が妥当なところだろう。

メンバー的にどうも気合が乗らない菊なので、今週は富士Sに絞るかな。

栄蔵の一番弟子 T P

夏の上がり馬であるAB、FSが回避して、順調にトライアルで上位を占めた春の実績馬で決まるのは確定。アグネスは菊花賞で勝ち負けを演じたSS産駒に比べるとなんとなく非力な感じがするし、血統的にも長距離がいいとは決していえない。エアは前走で情けないヨレぶりを示し、成長力に疑問が残る(姉がエアデジャブ-ということからも可能性がある)。また、母の父が短距離血統ということから、中距離のほうが良いんじゃないかと思う。ジョウテンは前走で馬体的にも成長を示したが、もともと詰めの甘い馬。信用するのはどうか。トーホウも馬体とともに成長を示したが鞍上の勝春が不安。以上4頭はあまり差がないと思われる。逆に4頭の不安点を挙げたものの、この4頭を脅かす馬がいるかとなると、これがないんだから、4頭で決まるだろう。

菊花賞は荒れないものだが、荒れたときの立役者に共通するのが、900万以上を勝っており、重賞の厳しい流れを経験した完全な長距離血統馬。これを満たすのはエリモブライアンただ1頭。3000mならこの秋2戦のG1の荒れた主要因「展開」も関係ないし、広い馬場京都の外回りで位置どりの影響もあまり受けない。

以上印上は5頭とするが、実際は4頭のBOXで90%間違いない。秋2戦のG1が大荒れだったため、今回も荒れるのではないかという購買者心理が働き、おいしい倍率になりそうなのもこれ幸い。

◎…アグネスフライト ○…トーホウシデン

▲…エアシャカール、ジョウテンブレーブ △…エリモブライアン

先週はまったく調子が悪かった。馬も買ったことだし、切り詰めていかないと残高がなくなっちゃうよ。現在の回収率89.1%

予想はウソヨ 四国の井崎

秋G1は期待に依って万馬券連発。そして迎える菊花賞。トライアル勝ちのアドマイヤボス、フサイチソニックが出てきたとしてもアグネスとエアの一騎打ちと考えていたから、出走メンバーではどう考えても2強で仕方がないと思います。

距離さえこなせば3000mでもタイム評価は効いてきます。その結果を、900万クラス時計を標準として示します。

アグネスフライト	+0.7	+0.8	-0.7	AA
エアシャカール	+0.5	+0.8	-0.8	BB
ヤマニンリスベクト	-0.1	-1.9	+0.8	C

トーホウシデン	-0.1	+0.1	+0.1
ジョーテンプレーヴ	+0.1	-0.2	+0.0
マッキーローレル	公営	公営	+0.0
ケージジェット	-1.8	-0.3	+0.0
スプリムコート	-1.4	-0.7d	+0.5d

やはり2強で抜けています。古馬1600万級5着したヤマニンリスペクトが3番手。例年セントライト組の成績は振るわないし、今年のレベルは神戸新聞杯とは1クラス違っていたので軽視します。

2強でおそらく2倍くらいでしょうが、17日(火)の大井の4歳重賞でも春のG1馬イエローパワーとアローウィナーで決まりました。中央でも春のG1馬2頭で決まるでしょう。1点予想としましょう。単勝をどちらを買うかは当日まで迷うはずです。アグネスに被れば前走1人気のエアに妙味があるかも知れません。

◎アグネスフライト ◎エアシャカール

第61回 菊花賞

				18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
				クリノキングオー	フエリシタル	カリスマシルバー	エアシャカル	マイネルビンテージ	トーホウシデン	ヒシマジエステイ	ゴーステディ	マツキローレル	ジョウテンブレーヴ	スプリームコート	ホワイトハピネス	アグネスフライト	トップコマンドー	ケーजीジェット	ヤマニンリスベクト	ダイワバードミンガム	エリモブライアン	馬名
				幸	高橋亮	小林徹	武豊	熊沢	田中勝	角田	吉田	本田	蛭名	四位	小原	河内	松永幹	佐藤	福永	柴田善	藤田	騎手
							◎		△	△						◎					△	ラッキー
							○		△	△			△	△		◎				△	△	へなりん
							○		▲							◎						ライスシャワー
							▲		○	△		△	△			◎					△	トウインクルンティ
							△		▲	○			△			◎						心配御無用!
							▲		○				▲			◎					△	T P
							△		▲	○			△			◎						洋二郎
							▲		△				◎			○			△	△		おけらくん
							▲		◎	△			△		△	△					○	ムーヴ

	天秋	菊花	エリ女	マイルC	JC	阪牝	朝日	スプS	有馬	フェブ	高松	桜花	皐月	天春	NHK	オークス	優駿	安田	宝塚	スプS	秋華
ラッキー	○	☆	○			○			○				○	○		○	○				
へなりん	○		○			○			○	○			○	○			○				
ライスシャワ	○					○		○		○			○	○	○		○				
トウクルダンディ	○					○		○		○			○	○	○						○
心配御無用!	○		○					○		○				○	○	○	○				○
TP								○					○	○	○	○	○				○
FELA	○		○			○			○												
洋二郎	○								○				○	○							
おけらくん	○							○						○	○						○
ミスターX			○											○		○					○
メーフルズ										○	☆										
ドラゴンジョ	○								○												

○…20倍 ◎…20～50倍 ☆…50倍～

次号は天皇賞号です。